

日本シティズンシップ教育フォーラム  
2022 年度事業計画

1. 事業計画

(1) ネットワーキングの場の創出

■ 「第 9 回シティズンシップ教育ミーティング」の開催

シティズンシップ教育に携わる様々な方々の横断的な交流や結びつき、意見交換の機会を作ることを目的とし、「第 9 回シティズンシップ教育ミーティング」を開催する。新型コロナウイルスの感染状況を鑑みて、今年度もオンラインでの開催とする。ただし、ネットワーキングを促進する機会とするため、対話セッションの充実を図ることとする。次年度の「第 10 回シティズンシップ教育ミーティング」企画実施についても同時に進めていく。

(日程・場所：3 月 20 日にオンライン実施)

■ 「シティズンシップ教育研究大会 2022」の開催

主に若手研究者の研鑽と学際的な対話の場づくりを目的とし、「シティズンシップ教育研究大会 2022」を開催する。ディシプリンの越境性／交差性や、参加者間の対話を通じた協同探究性が高まるプログラムを継続的に検討していく。

(日程・場所：10 月初旬にオンライン実施)

■ 「J-CEF スタディ・スタヂオ Online」の開催

報告発表やプログラム実験、合評等を通じた相互研鑽の場として定期的に催す「J-CEF スタディ・スタヂオ Online」を開催する。新型コロナウイルスの感染状況が収束段階に入るまでは、オンライン実施を継続する。同時に、KOBE スタヂオでは年 1-2 回程度、対面とオンラインのハイブリッド形式（ハイフレックス型やブレンド型）を試行実施する。企画実施については運営委員会のもとに担当チームを設けて進めていく。

(日程・場所：原則隔月でオンライン実施，一部神戸にて対面実施)

■ 「高校生ソーシャルデザインスクール」の開催

政治参加や社会参加の実践や探究に取り組んでいる高校生世代の若者がネットワーキングを進めつつ、問題意識を共有し、特定の社会課題について対話を行う「高校生ソーシャルデザインスクール」を開催する。企画運営にあたっては、高校生メンバーを中心に学生・院生がサポーターとして進めていく。

(日程・場所：不定期でオンライン実施)

## (2)現場の関係者を応援するメディアの制作

### ■ウェブサイトを活用した情報発信

ウェブサイトと Facebook ページ（ページ内コミュニティ含む）を通じて、各種主催事業の開催告知及び実施報告を行い、会内外へ情報発信する。また、会員に登録が限定されているメーリングリストでは主催事業情報の提供だけではなく、会員からのシティズンシップ教育関連の催事情報発信が活性化するように促していく。

### ■新たな出版物に関する企画検討

シティズンシップ教育に関する研究や実践の広がりを受け、当会関係者を中心に「これから」の方向性を見出していく上で手がかりを与えられる書籍の刊行に向けて企画検討を進める。

## (3)実践を広範に推進する社会環境の創造

### ■若者の社会発信の機会提供

「シティズンシップ教育ミーティング」や「シティズンシップ教育研究大会」、「高校生ソーシャルデザインスクール」などの企画を通じて、社会の変革と創造をめざす実践や探究に取り組む高校生・大学生等、若者の社会発信機会を提供する。加えて、そうした場における若者の声と動きを手がかりにしつつ共にシティズンシップ教育の今後の方向性を見出していく。

## 2. 事業推進体制案

事業企画ごとに企画運営を担うプロジェクトチームを設置する。加えて、組織全般の運営管理を担うマネジメントチームを設置する。その上で、事業企画間の連絡調整や新規事業検討を進めるため、プロジェクトリーダーとマネジメントチーム若干名でプロジェクト連絡会を設置する。また、監査役を設けて健全かつ適切な組織運営がなされているのかを監査することとする。今年度は大幅な組織改編を行うことから、組織形態の安定的移行と既存事業の着実な執行に重点を置き、来年度以降に新規事業創出へと動き出せる基盤整備に努める。

以上